



しょう かん きがる そうだんまどぐち
障がいに関する気軽な相談窓口
しゃかいふくしほうじん さつま町社会福祉協議会
ちやうしょうがいしゃ そうだん し えん
さつま町障害者相談支援センター

身体 知的 精神 発達 難病等

相談支援専門員が、障がいのある方が自立した生活が送れるように障がいサービス利用についての計画作成や相談・支援を行っています。気軽に相談してもらえらる窓口を目指して日々活動しています。

基本情報	
事業種別	相談支援事業 開所日 / 平日 8:30~17:15
所在地	薩摩郡さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内)
設立	平成17年3月 相談員数 / 3名
施設見学	可 就業体験 / 要相談
電話番号	0996(52)1123
メール	satsumashakyo-my@cyber.ocn.ne.jp
ホームページ	https://satsuma-shakyo.jp/work/disabilities



インタビュー INTERVIEW

相談支援専門員 柳田 道輝さん (平成24年10月就職) さつま町出身



- Q:この職場を選んだ理由は何ですか？
障がいのある方々の相談を受け、お役に立ちたいと思ったからです。
- Q:お仕事の内容を教えてください。
障がいのある方々からの相談対応、障害福祉サービスの利用調整です。
- Q:障がい者福祉の魅力はどんなところですか？
障がいのある方々の将来を、ご本人と一緒に考えられることです。
- Q:今後の目標を教えてください。
もっと障がいのある方々の相談に乗ったり、身近な相談窓口として周知を図りたいです。



しょう かん あんしん せいかつ おく
障がいのある方が安心した生活を送れるようサポートします
しゃかいふくしほうじん ひいらぎ会
そうだん し えん じぎょうしょ
相談支援事業所 さつま

身体 知的 精神 発達 難病等

さつま町から委託を受けて障がいのある方々の相談支援を行う一般相談と、障害福祉サービス利用時に必要なサービス等利用計画を作成する指定特定相談の窓口を担っています。

基本情報	
事業種別	相談支援事業 開所日 / 平日 8:30~17:30
所在地	薩摩郡さつま町宮之城屋地729番地
設立	平成21年7月 相談員数 / 3名
施設見学	可 就業体験 / 可
電話番号	0996(53)2940
メール	info2@hiiragikai.net
ホームページ	http://hiiragikai.net/publics/index/20/



インタビュー INTERVIEW

管理者 久保 秀和さん (平成8年4月就職) さつま町出身



- Q:お仕事の内容を教えてください。
日常生活で困っていることを相談してもらい、様々な情報を提供したり問題に寄り添いながら、より良い解決策を考えていく仕事です。
- Q:大切にしていることは何ですか？
相談者の気持ちに寄り添いながら支援することです。
- Q:職員として求める人物像は何ですか？
話をよく聞いて相手の気持ちを考えられる人。熱意をもって冷静に対応できる人です。
- Q:今後の目標を教えてください。
一人ひとりの困り感に寄り添い、安心して生活を送れるように支援していきたいです。



よりよい暮らしを実現するパートナーとして地域社会に貢献します

社会福祉法人 クオラ

相談支援事業所 クオラバンビーノ

身体 知的 発達

利用者のご家庭を訪問して、その方の心身の状況や置かれている環境等を把握した上で、福祉サービス及びその他の必要な保健医療サービスなどが総合的かつ効率的に提供されるように配慮しながら支援利用計画・サービス等利用計画を作成しています。

基本情報

事業種別 / 相談支援事業 開所日 / 平日 8:30~17:30
 所在地 / 薩摩郡さつま町轟町35番地40
 設立 / 平成26年11月 相談員数 / 1名
 施設見学 / 可 就業体験 / 要相談
 電話番号 / 0996(26)1215
 ホームページ / <https://www.qoler.jp/kids/bambino/>



インタビュー INTERVIEW

相談支援専門員 松元 由加里さん (平成26年7月就職) 薩摩川内市出身

Q:この職場を選んだ理由は何ですか?

子どもに携わる仕事と福祉に興味があったからです。

Q:お仕事の内容を教えてください。

サービス等利用計画の作成や行政、保育園、学校等との連携です。

Q:お仕事のやりがいを教えてください。

子どもたちが苦手なことやできなかったことを克服したり、保護者と一緒に成長を喜ぶことです。

Q:今後の目標を教えてください。

保護者の困り感や悩みに寄り添い、話しやすく相談しやすい相談員でありたいと思っています。また、子どもの課題を捉え、必要な支援を提供していきたいです。



障がいのある方の在宅生活をサポートします

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会

さつま町障害者訪問介護事業所

身体 知的 精神 発達

障がいのある方が、住み慣れたご自宅等で安心して生活できるようヘルパーが訪問して調理や掃除、買い物等の家事支援及び食事や入浴等の身体介護支援を行っています。

基本情報

事業種別 / 居宅介護支援事業 開所日 / 平日8:30~17:15
 所在地 / 薩摩郡さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内)
 設立 / 平成31年4月 従業員数 / 15名
 施設見学 / 可 就業体験 / 要相談
 電話番号 / 0996(21)3603
 メール / satsumashakyo-my@cyber.ocn.ne.jp
 ホームページ / <https://satsuma-shakyo.jp/work/disabilities>



インタビュー INTERVIEW

サービス管理責任者 松下 千恵子さん (平成31年4月就職) さつま町出身



Q:この職場を選んだ理由は何ですか?

障がいのある方々の生活をサポートし、お役に立ちたいと思ったからです。

Q:お仕事の内容を教えてください。

障がいのある方々のご自宅で家事支援や入浴などの身体介護を行っています。

Q:職場の雰囲気はどうですか?

和気あいあいとしていて、明るく楽しい職場です。

Q:今後の目標を教えてください。

障がいのある方々の困りごとに寄り添いながら、在宅生活の手助けを行いたいです。



だれもが安心して暮らすことのできる地域（まち）を目指します

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会

身体

知的

精神

発達

社会福祉協議会は、社会福祉法上で「地域福祉の推進」における中心的役割を持つ組織として位置づけられている民間の非営利団体で、一般的に「社協」と略されて呼ばれます。障害者福祉関連では障がいのある方の各種相談を受ける窓口のほか、居宅介護（ヘルパー）や車椅子の貸し出し、福祉タクシーの運行などを行っています。



働きやすさポイント（職員）

・明るい雰囲気です。

基本情報

事業種別	社会福祉・高齢者福祉・障害者福祉事業
所在地	薩摩郡さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内)
設立	平成17年3月 従業員数 / 66名
施設見学	可 就業体験 / 要相談
開所日	平日 8:30~17:15
電話番号	0996(52)1123
メール	satsumashakyo-my@cyber.ocn.ne.jp
ホームページ	https://satsuma-shakyo.jp/



仕事で役立つ資格やスキル（職員）

・社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員、介護福祉士、介護支援専門員等

インタビュー INTERVIEW

事務局長 山下 光男さん (平成19年5月就任) さつま町出身

Q:どのような事業所ですか？

極めて公共性が高く、地域福祉を推進する民間の福祉団体です。行政関係機関等と連携を深め、社会福祉関係事業全般に取り組んでいます。

Q:大切にしていることは何ですか？

町民の方々から寄せられる各相談に耳を傾け、関係機関との連携を図ることです。

Q:職員として求める人物像は何ですか？

健康で明るく、誰とでもコミュニケーションがとれる人です。

Q:今後の目標を教えてください。

若手職員からベテラン職員までの構成で、バランスの取れた職員体制を目指し、町民の方々に安心してもらえる法人経営を目指します。



私のおすすめ！

車椅子は1か月無料で貸し出し。福祉給食は365日配達するから見守りも安心！



薩摩中央高校 福祉科 日高 菜々子さん

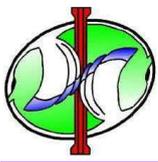
障害者福祉事業の一部



車椅子の貸し出し



福祉タクシーの運行



つよくなかよくのびやかに

鹿児島県立 出水特別支援学校



本校は小学部から高等部までの知的障害児、肢体不自由児の教育及び北薩地区の特別支援教育のセンター的機能を担っています。一人一人の良さや可能性を伸ばし、教育的ニーズに応じた教育を行うとともに、自立と社会参加に向けて主体的に生きる児童生徒を育成することを教育目標に掲げています。



働きやすさポイント (職員)

- ・福利厚生が整っています。
- ・教職員同好会によるバドミントンやソフトテニス等により交流を深めています。

仕事で役立つ資格やスキル (職員)

- 【教諭、講師】 幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校教諭の教員免許、保育士免許等
- 【事務職員】 学校事務経験
- 【用務員】 子供好きである方

基本情報

所在地	/ 出水市文化町966番地	QRコード
設立	/ 平成12年4月	
教職員数	/ 123名(R4.5.1現在)	
児童生徒数	/ 253名(R4.9.1現在)	
開校日	/ 平日 8:20~16:50	施設見学 / 可
児童等送迎	/ 有(通学バス路線内)	昼食 / 有
電話番号	/ 0996(63)3400	
メール	/ izumi-h@edu.pref.kagoshima.jp	
ホームページ	/ https://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/izumi-h/	

インタビュー INTERVIEW

校長 奥 政治さん (令和4年4月就任) 鹿児島市出身



Q:大切にしていることは何ですか？

一人一人の良さや可能性を伸ばし、教育的ニーズに応じた教育を行うとともに、自立と社会参加に向けて主体的に生きる児童生徒を育成することです。

Q:職員として求める人物像は何ですか？

児童生徒への愛と共感にあふれ、専門性の向上に自ら努力し続け、保護者や地域から信頼されようとする人です。

Q:今後の目標を教えてください。

9つの重点目標と努力点の達成を目指します。
(学校要覧・学校ホームページ参照)

活動の様子



修学旅行



作業学習



運動会

※令和5年4月に、「出水養護学校」から「出水特別支援学校」に校名変更いたしました。



しょうがいしゃ しよくぎょうじりつ しえん
障害者の職業自立を支援します

こくりつ
国立
けんえい
県営

かごしましょうがいしゃしよくぎょうのうりよくかい はつこう
鹿児島障害者職業能力開発校

しんたい ちてき せいしん
身体 知的 精神
はつたつ なんびょうどう
発達 難病等

しょうがいのある方の身体的又は精神的な事情等に配慮して職業訓練を行い、障がいのある方が働くために必要なオフィスワーク、ものづくり、サービス提供などのスキルや社会生活に必要なビジネスマナー、コミュニケーションスキルなどを学びます。ここでの学びを通して様々なスキルを身に付けて仕事に就くことにより、社会の一員としての役割を担うことをサポートしています。



学びやすさポイント (学生)

- 充実した施設、設備のもと、少人数の環境で職業訓練を受けられます。
- 看護師と精神保健カウンセラーが心身面での不調や相談に対応するなど安心して学べる環境です。
- 便利で安心して過ごせる寄宿舎があります。(男性50名、女性30名)

習得を目指す資格やスキル (学生)

- コンピュータサービス技能評価試験、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、色彩検定、介護事務管理士、簿記実務検定、ビジネス計算実務検定、介護職員初任者研修、福祉用具専門相談員、福祉住環境コーディネーター、レクリエーションインストラクターなど

基本情報

所在地	薩摩川内市入来町浦之名1432番地
設立	昭和43年4月 職員数 / 32名
施設見学	可 オープンスクール / 年2回(7月・10月)
開校日	平日 8:30~17:15
学生送迎	無 学生昼食 / 有
電話番号	0996(44)2206
メール	shogaiko@pref.kagoshima.lg.jp
ホームページ	https://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/rodo/kaihatu/shogaikou/



インタビュー INTERVIEW

ぞうけいじつむかそつぎょうせいひだかゆうと れいわねんがつそつぎょうやくしまちやうしゅん
造形実務科卒業生 日高 優翔さん (令和4年3月卒業) 屋久島町出身



- Q: この学校を選んだ理由は何ですか？
木に触れることが好きで、手工具の扱いや木についていろいろ学ぶこと。そして、いろいろな資格が取れると聞いて開発校を選びました。
- Q: 学校ではどんなことを学びましたか？
木の性質や手工具の扱い方、掃除の仕方など。また、自立するために必要なことを学びました。良かったことは、アビリンピック全国大会で金賞を取れたことです。
- Q: 現在のお仕事を教えてください。
屋久杉を使ったキーホルダーやボールペンなどの製品を作ったり、地元の子どもたちに木の素晴らしさを伝えるため、木育という事業をサポートしています。
- Q: 今後の目標を教えてください。
屋久島の木工所を頑張って、鹿児島島の専門校へ進学して更に技術を磨いて屋久島に戻り、いずれは自分の木工所を開業したいです。

情報電子科
パソコンプログラミング、電子回路の基礎知識、CADによる回路図作成、ワード・エクセル操作など

グラフィックデザイン科
パソコンソフトを用いて、パンフレット・ポスター等を作成。その他、写真撮影やWebデザインなど

OA事務科
パソコンソフト(ワード、エクセル等)の操作、簿記会計、マナー接遇、介護事務など

介護福祉サービス科
介護に伴う知識や調理、清掃、レクリエーション等の技能、福祉用具の製作・メンテナンスなど

アパレル科
洋服の製作に必要なデザイン、製図、手縫い、ミシンによる本縫いやアイロン作業など

ワークトレーニング科
※知的障害者のみ。
木工などのものづくり、清掃作業、コンピュータ操作など



“働きたい”を応援します!!

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

ほくさつ障害者就業・生活支援センター



障がいのある方の就職や生活の相談、企業の障がい者雇用相談などに応じる「総合窓口」です。

障害者就業・生活支援センターは、厚生労働省と鹿児島県の委託を受けて運営しており、県内に7つの事業所を設置しています。



主な支援内容

【求職活動支援】

関係機関と連携しながら、ご希望や適性に合った仕事を一緒に探します。

【就職後の定着支援】

就職後も悩みや不安を解消できるよう、センター職員による企業訪問や面談、電話などでも相談をお受けします。

【生活面の支援】

就業に伴う生活上の悩みや困りごとの相談をお受けします。

基本情報

Table with 2 columns: Information (所在地, 設立, 開所日, 利用料, 電話番号, メール, ホームページ) and Details (薩摩川内市西向田町11番26号, 平成26年1月, 平日 8:30~17:30(土日祝休み), 相談・登録など全て無料, 0996(29)5022, hssc@kagoshima-swc.jp, https://kagoshima-swc.jp/lists/hssc/)



障がいのある方やご家族の方へ

Q 利用にあたって年齢制限はありますか?

A 年齢制限はありません。ただし、在学中の方の支援はできません。



企業等の方へ

Q 障がい者を雇用したいのですが、どうすればいいですか?

A 支援員が現場に伺い、どのような仕事を任せられるか一緒に考えていきます。



Q 支援期間は決まっていますか?

A 期限はありませんが、一定期間相談が無い場合に支援の有無について、センターから確認の連絡をする場合があります。



Q 登録者以外の相談も受けてくれますか?

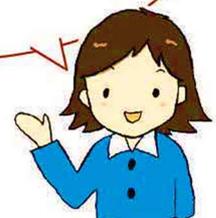
A 企業・相談者の双方が望めば支援に入ることができます。



皆さん、様々な職場で活躍されています!!



気になることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。まずは、お電話を!!



人づくり ものづくり 夢の実現100%

鹿児島県立薩摩中央高校 福祉科の魅力



所在地:薩摩郡さつま町虎居1900番地 電話:0996(53)1207

福祉科では、福祉に関する基本的な知識・技術だけでなく、福祉の現場で必要な能力や態度も養います!

介護福祉士の国家資格を目指すため、もちろん勉強は大変ですが、、、様々なイベントや地域との交流があるので充実した学校生活が送れます♪

見学実習



福祉科は、笑顔あふれる優しい学科です

◎福祉は、机の上だけでは学べない!

- ・実技の授業(歩行や着脱介助など)
- ・現場実習(高齢者・障害者施設)
- ・現場の職員より実技指導
- ・大学教授による授業
- ・リモートで利用者様と交流
- ・地域交流 など



男子も活躍



勉強より部活が好き!
ウエイト、バレー、バスケット部で活躍!

学校の設備が
充実



移動用リフトなど福祉機器の
活用についても学びます

さまざまな
学科行事



レクリエーションを企画と実践!
地域のイベントにも参加するよ♪

進学にも強い

今年度・昨年度の状況



- 〈進学先〉
- ・福祉系大学
 - ・法文大学
 - ・専門学校
- (看護、理学、医療事務・美容)
- 〈就職先〉
- ・高齢者施設



高い合格率

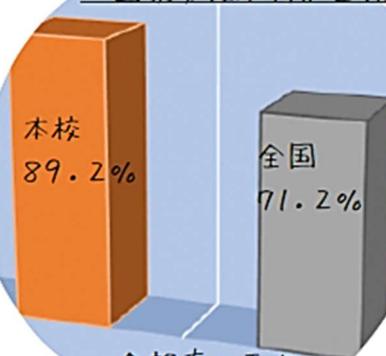
高卒で介護福祉士の
国家資格取得が目指せる!

全国の合格率より
18%も高い!

資格取得も
充実



- ・介護職員初任者研修
- ・普通救命救急講習
- ・認知症サポーター
- ・パソコン検定 など



合格率の平均
(過去3年)



障害者手帳の交付をはじめ、各種障がい者福祉サービスの申請受付や経済的な理由などにより生活が困難な方の支援、災害被災者への生活支援など、関係機関との連携を図りながら町民福祉を総合的にサポートします。また、障がい者への理解の促進を図るため、「毎月24日は福祉の日」をキャッチフレーズに、「さつまる・ふくしまルシェ」を開催し、障がいのある方の社会参加の促進や福祉事業所等の情報発信にも力を入れています。



働きやすさポイント (職員)

- 未経験者、無資格者でも先輩のサポートや研修により業務ノウハウを取得できます。
夏季休暇や育児休暇など福利厚生が整っているため、安心して働けます。

仕事で役立つ資格やスキル (職員)

- 社会福祉士、保健師、MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)、精神保健福祉士、コミュニケーションスキルなど

基本情報

Table with 2 columns: Category (e.g., 事業種別, 所在地) and Information (e.g., 障がい者福祉、社会福祉の行政窓口, 薩摩郡さつま町宮之城屋地1565番地2)



インタビュー INTERVIEW

主事補 竹林 新紀さん (令和4年4月入庁) さつま町出身



- Q:この職場を選んだ理由は何ですか?
Q:お仕事の内容を教えてください。
Q:職場の雰囲気はどうですか?
Q:今後の目標を教えてください。

障害者週間「作品展示」 (毎年12月3日~9日)

障がい者(児)の皆さんが作成した絵画や手芸品などの作品を展示して、障がい者の福祉についての関心と理解を深める取り組みを行っています。[会場: プラッセだいわ宮之城店]





さつま町身体障害者福祉連絡協議会

身体

通称で身障協と呼ばれているこの協議会は、身体障がい者の福祉の向上と健康増進のために活動しており、各種研修会やスポーツ大会、公演会などに参加しています。また、会員は身体障がい者であるため、身近な相談相手としてもいろいろな相談ができます。



主な活動

- *町身障協総会等による意見交換
- *県及び全国障害者スポーツ大会への参加
- *県障害者保健福祉大会等への参加
- *町身障協グラウンドゴルフ大会の開催 など

基本情報

設立 / 平成17年6月
 会員数 / 48名(令和4年4月現在) ※随時会員募集



さつま町手をつなぐ育成会

知的

手をつなぐ育成会は、昭和27年に3人の母親の提唱によって、知的な障がいを持つ子の親としてお互いに励まし合い、手を取り合っ、自分で訴えることの不得意な子どもの将来のことを考えて立ち上がった親の会の全国組織です。



主な活動

- *町及び川薩地区育成会総会等による意見交換
- *県及び全国障害者スポーツ大会への参加
- *愛のひとしずく運動、育成会親子交歓会
- *チャリティーボウリング・ゴルフ大会
- *川薩地区手をつなぐ育成会研修会 など

基本情報

設立 / 平成17年6月
 会員数 / 80名(令和4年6月現在) ※随時会員募集



さつま町精神障害者家族会「若竹会」

精神

若竹会は、精神障がい者とその家族の幸福を図るため、精神障がい者の医療の徹底、再発防止、社会復帰の促進、精神保健思想の普及啓蒙並びに社会福祉対策の充実促進に努めることを目的に活動しています。



主な活動

- *NPO法人若竹作業所「工房たけん子」の運営
- *県及び全国障害者スポーツ大会への参加
- *県友愛フェスティバル、県障害者保健福祉大会、家族会活動研修会等への参加 など

基本情報

設立 / 昭和61年7月
 会員数 / 正会員23名、賛助会員2名
 (令和4年6月現在) ※随時会員募集

誰もが平等に学び・働き・暮らせる社会へ

さつま町では毎月24日を福祉の日に位置づけ、障がい者福祉関係事業所(団体)の活動PRや就労支援施設等で生産する野菜・加工食品・雑貨などの販売を行う「さつまる・ふくしまルシェ」を開催しています。

この取り組みを障がい者の社会参加・参画の機会として継続的に実施することで、障がいや障がい者(児)に対する理解を促進し、誰もが平等に学び・働き・安心して暮らせる町づくりを目指しています。(SDGs:目標10のターゲット)

～毎月24日は福祉の日～

Satsumaru Welfare Marche
さつまる ふくしまルシェ



障害者支援施設 宮之城ふくし園

- *季節の野菜
(ナス、ピーマン、じゃがいも、玉ねぎ、そら豆、ジャンボニンニクなど)



就労継続支援A型 株式会社 光の郷

- *生椎茸(菌床)
- *乾燥椎茸
- *椎茸のホダ木
- *切干大根
- *季節の野菜など



地域活動支援センター 工房たけん子

- *中華ちまき
- *ハーブ緑茶
- *小物雑貨



就労継続支援A型 株式会社 夢の杜

- *ところてん
- *丸芋こんにやく
- *スイーツところてん
- *生くずきり
- *ピーナツ豆腐など



就労継続支援B型 TOPOS みんな

- *ポップコーン(各種)
- *焼きぎょうざ
- *小物雑貨



就労継続支援B型 支援センター さつま

- *シフォンケーキ
(プレーン、抹茶マール、ココアマール、紅茶)
- *季節の野菜
(キャベツ、ズッキーニなど)




就労継続支援B型 HARU 希

- *小物雑貨
(タイダイ染めTシャツ、タイダイ染め靴下、アクリルたわし、マクラメコースター、ドリームキャッチャーなど)



鹿児島県立 薩摩中央高校 福祉科

- *介護体験・実演
(車椅子、点字ブロックなど)
- *学校(学科)紹介



就労継続支援B型 すたーと

- *びいだんご
- *あまちゃんだんご
- *かからだんご
- *よもぎだんご
- *フルーツケーキなど



県立出水特別支援学校 子どもの可能性を広げる会

- *陶芸作品
(小皿、大皿、カレー皿、茶碗、湯呑みなど)
- *ハンドクラフト作品
(マスク、コースターなど)



就労継続支援B型 就労支援センター ひすい

- *小物雑貨
(トートバッグ、ニット帽、スタイ、ポーチ、シュシュ、ままごとフェルト(寿司・お弁当)など)



学校法人出水学園 出水中央高校 医療福祉科

- *学科紹介
- *レクリエーション同好会
によるミニゲームなど






10 人や国の不平等をなくそう



目標10-2

2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などにかかわらず、すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないようにすすめる。

「共生社会」の実現のために

障がいのあるなしにかかわらず、すべての命は同じように大切にあり、かけがえのないものです。

ひとりひとりの命の重さは、障がいのあるなしによって、少しも変わることはありません。このような「当たり前」の価値観を、改めて、社会全体で共有していくことが何よりも大切です。

「障害者差別解消法」では、障がいのある人に「合理的配慮」を行うことなどを通じて、「共生社会」の実現を目指しています。

「合理的配慮」の具体例

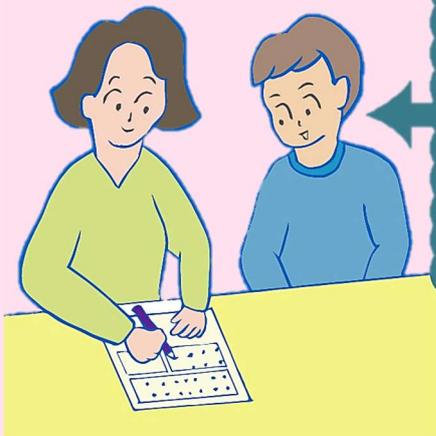


障害のある人の障害特性に応じて、座席を決める。



段差がある場合に、スロープなどを使って補助する。

意思を伝え合うために絵や写真のカードやタブレット端末などを使う。



障害のある人から、「自分で書き込むのが難しいので代わりに書いてほしい」と伝えられたとき、代わりに書くことに問題がない書類の場合は、その人の意思を十分に確認しながら代わりに書く。

合理的配慮の事例が内閣府のホームページにあります。

合理的配慮サーチ 検索

合理的配慮サーチでは、障害の種類や生活の場面から事例をさがすことができます。

今後、さらに具体例を収集・蓄積し、内容を充実させていきます。

出典：内閣府リーフレット『「合理的配慮」を知っていますか？』